

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
ラブ&ジェンダーコミュニケーション		選択	1	2.3(～24)	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
鈴木 真吾	B309	shsuzuki	水曜日 12:10～12:50			
授業の目的・概要	<p><目的>人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多角的な視野を培い、異なる背景や視点を尊重できる、多様な自己表現・コミュニケーションの実践を体験する。</p> <p><概要>本科目は1年次に修得したコミュニケーションの基礎を発展させて、多様なコミュニケーションの実態を体験させて、学生の視野・視座の拡充・柔軟を促す学際的科目群である。この授業では、「ラブ」と「ジェンダー」、すなわち多様・多面的な愛情と性にまつわる、人とつながるコミュニケーションの世界が、如何なる特徴・功罪を具備しているか、様々なワークを通して体感してもらい、自分自身の情緒と感性を豊かにさせ、適切な社会実装への展開を考察していく。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()					
学習上の助言	<p>本科目のテーマについてはコミュニケーション・生き方の多様性を扱うことになる。多様なコミュニケーションの実際を知り得たい興味関心で受講してよいが、いまだ社会の多様性から外れる感覚で苦しむ人たちがいることへの共感を忘れず、知的好奇心を前提として、積極的に楽しんで受講してもらいたい。</p>					
教科書	特に指定しない。					
参考書	必要に応じて適宜紹介する。					
外部教材	必要に応じて適宜紹介する。					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	愛情と性、誰かとつながるコミュニケーションに関する実際や理論が多様であることを認識し、自身の自己表現を成長させることができる。			HC (1) (3) (4)		
②	愛情と性、誰かとつながるコミュニケーションに関する多様な見識を体験して、実際の社会場面で適切に表現・応用する準備学習とすることができる。			HC (2) (6)		
③						
④						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	本科目全体の説明 (オリエンテーション)。 多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ① ～「正常」普通の愛情と性の世界はあるのか	講義	授業内容について整理し、体験を小レポートでまとめる。			
2	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ② ～愛情と性の過多と執着	講義・演習				4
3	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ③ ～愛情と性の欲望と破壊(自滅)	講義・演習				4
4	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ④ ～スタイル:依存・共依存の迷宮	講義・演習				4
5	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ⑤ ～スタイル:フェティシズム・象徴の迷宮	講義・演習				4
6	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ⑥ ～スタイル:純粹過ぎる一体化の迷宮	講義・演習				4
7	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ⑦ ～スタイル:バーチャル・非現実の迷宮	講義・演習				4
8	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ⑧ ～生きる歴史:クィア「化け物」扱いされたアイデンティティ	講義・演習				4
9	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ⑨ ～生きる歴史:身体改造「異形」を求めるアイデンティティ	講義・演習				4
10	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ⑩ ～生きる歴史:パラフィリア「異端」となるアイデンティティ	講義・演習				4
11	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ⑪ ～生きる歴史:支配・被支配「権力」が伴うアイデンティティ	講義・演習				4
12	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ⑫ ～時代の波:ハラスメントと人間社会の変革	講義・演習				4
13	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ⑬ ～時代の波:異常なる人間と共生社会の行方	講義・演習				4

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

14	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ④ ～時代の波：愛情と性の極致、「解放」と「創造」の狭間	講義・演習		4
15	多様な愛情と性のコミュニケーション世界を学ぶ：まとめ	講義・演習	授業全体を振り返り、自己分析レポートを作成する。	6
試				

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	44	0	0	56	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	15	25
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	20	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	11	11
問題を発見・解決する力		0	4	0	0	0	4

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①	✓	授業全体を振り返り、指定されたテーマ（愛情と性の世界）について、自分を主語とした自己分析レポートをまとめとして提出する。仔細な指定は授業内で指示する。	Teams 課題にて、コメントを付して返却する。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	第 1 回～第 14 回にて、授業後に「授業で知った知識から得た新たな自分の気づき」を記述するリアクションペーパーを提出してもらう。その内容（思考）の質により、毎回 4 点または 2 点を提供する（但し、授業内容と関連のないものは 0 点とする）。全 14 回の総配点は 28 点～56 点となり得る。	Teams 課題にて、コメントを付して返却する。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	本科目の担当講師は、臨床心理士及び公認心理師資格を有し、22年の心理相談業務の経験がある。
実践的授業の内容	心理相談業務の経験を通して、多様な愛情と性にまつわる心理社会的問題に触れて来た経験も活かして、唯一絶対の正解がない人間社会のコミュニケーション、あり様を学生が理解できるよう促す。
そ の 他	本科目は全 15 回で実施するが、当該学年のカリキュラム上、読替による取得単位数は 1 単位となるため、あらかじめ留意すること。 教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。